

家賃用のモラを
使い込んでしまった
カーヴェ

モラはない……！

だから
身体で支払おう
と思う

アルハイゼン

?????

君が
僕に隠れてアナニー
知っているのは
知っているんだ

しかも結構
エグイ
デイルドで

ちんぽに飢えて
いるんだらう!?

そこでだ！
ここ以後腐れがなく
自由に使える
立派なちんぽがある！

これを提供
する事で家賃と
しようじゃないか！

言いたいことは
それで全部か？
却下だ

な…なんでだよ
お互い利益のある
完璧な提案だろ！

カーヴェ
少し考えれば
分かることだ

ここは俺の家だ
俺の家の自室で
自慰をするのに
君の許可は必要ない

君に俺の性的趣向を
伝える義務もない

そして俺は自慰で
十分満足しているから
君の陰茎はモラの
代替としては不十分だ

はあ……

ぐぬうっ
一つずつ丁寧に
反論して来た



そんな事言って
無関心なふりを
しているけど

本当は興味
があるんじゃないか？

だが気難しい
君の相手をして
あげられるのなんて
僕くらいしかいない

これは取引材料に
なるはずだ！



確かに検証もせず
否定するのは
間違っている

今回は君のソレで
家賃の延滞料を
立て替えるでしょう

本当か！？
よ……よし！



カーヴェの体格だと
大きさは期待
できないが

生ちゃんぽ……



自慢じゃないが
僕のもののは
結構立派だぞ！

君の
エグイディルドに
引けを取らない

検証の
価値はある！

気の迷いかと思ったが
なかなかに引かないな
本気なのか？
正直興味はある



生ちゃんぽ……



では

君は
陰茎を勃起させて
横になつてくれ



だが家賃は後日
モラで払って貰うぞ

次の給料は怪しい
チャリテイーショップで
使い果たす前に持ち帰って
欲しいものだ

ぐぬ……



ギク

俺が君の陰茎で
自慰をする間
君は動かないように

そ……それは
あまりにも
僕の人權を
無視し過ぎて
無いか!?

出来ないのか?
ならこの話は
無かった事に
しよう

俺は君と
セックスする
つもりはない
あくまで自慰だ

気が散るから
声も出さないでくれ

わ……分かったよ!やる!
ちんぽおっ立てて
君のデイルドになるよ

まったく……
もっと言葉を
優しく言えないのか
君ってやつは……っ

ではさっさと
使える様にしてくれ

わ……
分かったよ

んんんん

……は?
でっか

「ロク……」



味見!?

味見だ

…えっ
何して



確かに立派な
ものを
持っている
ようだ
期待値が
上がった



問題れも?

君の立派なものを
勃起させる…ん♡
手伝いもかねているが

い…いやっ
続けて…っ♡



はは…君が僕を
褒めるなんて珍しい
…ん?



ん♡
んは♡

興味がないなんて
一言も言っていないが…
まあいい



やっぱりちんぽに
興味津々だった
んじゃないか♡

味も
悪くない

はあ…ぐうっ♡
アルハイゼン…っ
ふ…っあ…
君…っ

大きさも硬さも
期待以上だな

あ…あのさあ
アルハイゼン

そしたらもう少し
頑張れそう
なんだけど……

そ…即答…
ちんぽへの
意欲が凄いな

検証するなら
万全の状態
挑むべきだろう

フェラもいいけど
君のおっぱい…
触ってもいいかい？

日頃から興味が
あったんだよね
このデカパイ

いいぞ

ムラ

わん
わん
わん

きん
きん

君は自分の陰茎の
有用性を
証明しなければ
いけない立場だと
理解しているのか？

訳：早く勃たせろ

じゃあ
失礼して…
おお♡
柔らかい…っ

わ…分かってるさ
そのためにもしっかり
勃たせないとなっ

俺は胸は
感じないが…

カーヴェの気分を
盛り上げるために
触れるのなら
多少の演技が必要か…

ムチ♡
ムチ♡

ムラッ

す…

ズ

マ

マ

ムラッ



乳首ぐりぐりっ
うっっっ

自分では
こんな強く
しないっ

んっ



あっ!? あっっ
こんな動き知らないっ

んっ



あ…っっ

ん?…何だ…?
いつもと違う

んっ

ふ…っ

むぎゅっ

んっ

少し揉んだだけで
乳首勃起させてる
じゃないか

むぎゅっ



動きが予測不能…っ
自慰とは違いすぎる

いい反応だ
ちんぽに来る

はあー
この乳首くらい
普段から君が
素直だったら
最高なのに

1秒も黙っていられ
ないのか君は…

本気で感じているから
演技をしなくても
良いのは楽だが



カーヴェが
暴走した時に
止められるかが
問題だ…

はいはい
黙りまー

んっ

あ…ん

はむっ

んっ

むぎゅっ

んおっ!?

熱くてねっつとり
したものが
乳首を包んで

んっ

んっ



お♡お♡
お♡お♡
舌す♡い♡

は
あ

甘く痺れる♡
なにか来る♡

あ



ほ♡♡♡
舌で乳首弾かれ♡♡

ん♡お♡

ほ♡♡♡
ほ♡♡♡
ほ♡♡♡



口内の粘膜と
ぬとぬとした舌で
乳首舐め回されるの
たまらない♡♡

う♡

あ♡♡♡
あ♡♡♡

あ♡♡♡



イク♡
乳首でメスイキ♡
イク♡イク♡

あ♡♡♡
あ♡♡♡

イッグ♡♡

あ♡♡
気持ちいい♡
これ♡
気持ちいい♡
もっ♡と♡

え…?
もしかして君…
イったのか?

エッチ
だなく…

は…♡…♡

は♡♡
は♡♡

とろ♡ん♡



察しの通り
メスイキし
少し放心した
もう大丈夫だ

へー君でも
イクと馬鹿に
なるんだな

だが一番
気持ち良かった
舌の動きは自慰では
再現不可能だ
使えない経験だったな



君ってやつは…素直に
「また乳首舐めて
ください先輩♥」とか
言えないのか?

君に再度依頼するかは
この後の結果で検討する
陰茎の状態はどうだ?

ああ!
君の痴態のおかげで
バキバキだよ!

覚悟しろ
アルハイゼン!

気を抜くと
メスになる…っ♥♥

はっ♥

あ♥…そうか
で…では横に…
な…ってくれ…



ついに初めての
生ちんぽっ♥

い…いかん落ち着かねば
カトヴェがいることを
忘れてはならない

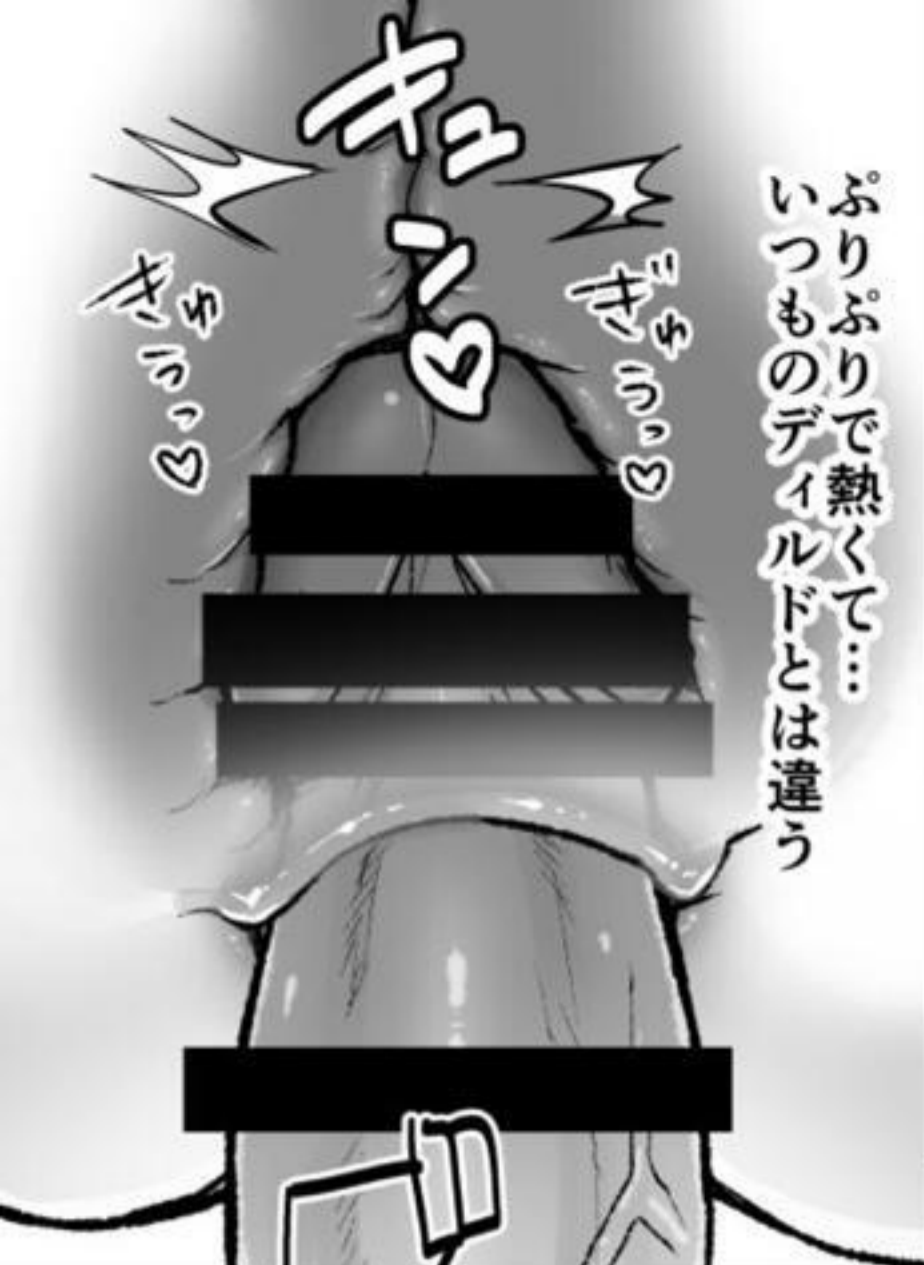
そうだった…
僕はデイルド…
なのだった…

挿入中は俺に
触れるな
動くな
声を出すな

君はデイルドで
俺は自慰をする

良いな





ふりふりで熱くて…
いつものデイルドとは違う



こ…これが…
ちんぽ…



これ…は…
想定外だ…
良すぎる…

お…

こんな凄いちんぽで
絶頂を味わったら
今後デイルドで
満足出来なくなる

俺の安定した
性活が破綻する
即刻中止するべきだ



早く抜かないと
まず…いつ…

あゝ…
アルハイゼン？
動かないのかい？

ほあ

君のナカ
熱くてとろとろで
気持ち良いけど
これじゃ生殺しだよ…

しゃ…喋るな
今俺は絶頂
している

ビク
ビク

ふ…っ♡

えっ？
先っぼ挿れた
だけで？

気が強い
やつはアナルが
弱いつて言うだけ
本当だったんだな

っは
あんなにイキ
たの…アナル
雑魚アナル
だけ？

はあっ♡

ブル

カーヴェが喋ると
振動が伝わって絶頂が
終わらない…っ

オ…♡

どんどん理性が
削られてちんぽから
離れがたくなる…っ

デイ…

ディルドは
喋るなっ

ムカツ

フン！
動けないというなら
手伝わってあげよう！
僕は出来る
ディルドだからな！

はっ…待て…っ

カッ



ヒキ
ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ
ヒキ

ヒキ

ヒキ
ヒキ

ヒキ

ヒキ

生ちんぽ
アクメ♡
脳に刻まれへ♡

ヒキ

はっはっはっ

おっ♡おっ♡おっ♡
いっ♡るの♡に♡
こんな♡す♡ご♡い♡

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ



はあ
はあ
君のナカきもち♡
アルハイゼンツ♡
はあ♡

く…っ
言い返したいのに
絶頂の度に
思考が止まって…っ♡



君もずっと
イッてるし
はは…僕たち
身体の相性
良いのかも♡

イッてる時は
君の皮肉も止まるし
ちんぽで黙らせ
てるって感じが
興奮するな♡

自分の意思に反して
突かれていく♡
制御できない快感の暴力♡



はっはっはっ

動けないんだろ
僕が上になるよ

セ…セックスに
なっちゃうけど

君もたくさん
気持ち良くなれる
ほうが良いだろ♡

ばっ

あっ

んっ

んっ

んっ

んっ

おっ♡
んおっ♡

んっ

抵抗しないって
ことは承諾って
ことだよね♡

いい子だね
ほら僕に
しがみついて

あま…♡
あま…♡

はっ

抵抗しようと
思えば
簡単に押し退け
られるが…
したくない…

このままカーヴェに
身を任せてみたい

深…っ♡♡♡

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ





はあっ
アルハイゼン

かわいいよ
アルハイゼン♡

カーヴェエの肌が
密着して熱い…っ

カーヴェエの
お尻

こ…これが
セックス…

んお
んお



アルハイゼン
セックス
気持ちいい？

あっ
はっ

気持ちいい…っ
セックス
気持ちいい…っ

うっ♡尻の穴で
返事するなんて♡
下の口も達者だな



はああっ♡
いくよアルハイゼン♡
君の中で射精すからね♡

ぐんぐん

んお

んお
んお
んお



イク……!

カーヴェの
熱いイ♡

メスになる♡
屈服する♡

メスの幸せ♡
頭と身体に
刻み込まれる♡

おははは……♡

おはは♡

完全に身体が
カーヴェのちんぽを
覚えてしまった
想定外だ

カーヴェはいつも
俺の想定から
外れる結果を
もたらす男なのだった

検証結果だが…
君は勝手に
動いて喋っていた

デイルド
としての
評価は最低
だと言える

ガーン

ええ!?
あんなにヨがって
たのにつ



じゃあもう僕の
ちんぽは用無し…?

そうは
言っていない



セックスは良かった
君の陰茎は素晴らしい

とても立派だ
誇って良い

えっ♡
あ…ありがと…



だから今後は
家賃として
セックスを
提供して貰う
これは確定事項だ

き…君ってやつは!
じゃあ最初から素直に
「またセックスして
ください先輩♡」
って言えよ!

何故?

何故じゃない!!

もみもみ



END